

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 50' 10"	
				経度	137° 32' 45"	
清滝片棧橋 (フリガナ)キヨタキカタサンバシ	村道第41号線	木曾郡王滝村字大又				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長野県木曾郡王滝村	2018.8.9	水路	有	一般道	-	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(株)千代田コンサルタント	点検責任者	添田登
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	III	腐食	写真1、主桁05			
	横桁	III	腐食				
	床版	III	腐食	写真2 床版04			
下部構造	III	腐食,土砂流出	写真3 橋脚16				
支承部	I						
その他	III	段差,地覆の欠損	写真4,5 舗装01,地覆01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)				措置後に記録	
点検時に記録				措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	主桁,縦桁,床版,橋脚に腐食が見られた。		(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	早期に措置を講ずべき状態である。				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	正面 起点側より		全景		終点側	起点側
2001年	266.6m	8.0m						

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

主桁【判定区分: Ⅲ】



床版【判定区分: Ⅲ】



橋脚【判定区分: Ⅲ】



舗装伸縮継手【判定区分: Ⅲ】



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">地覆【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>
<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>